

♪♪♪ いい歌、いい町、いい自然 ♪♪♪

No. 496

2004. MAY

広報

# あかいけ

# 5

みんなの元気が力になる  
そしてまちは動いていく

特集 2004

## まちな動き

# 開花する町

平成12年まで10年間にわたった財政再建。

その間、町独自の町づくりは停滞を余儀なくされました。しかし、赤池町は倒産自治体であっても

個性あふれる特色ある町づくりへの夢を持ち続けました。

むしろ、財政再建中にその構想はふくらんでいったのです。

「みんながイキイキと安心して暮らせる町を創りたい」。

診療所・保健センター・福祉センターの複合、合築による  
画期的な総合保健施設の建設。

福智山麓の景観や風土にとけ込んだ上野小学校の建設など  
今まで育んできた魅力ある町づくり構想がいま、花開こうとしています。

平成16年度は、まさに「赤池町開花の一年」と言える集大成の年なのです。

しかし、ようやく大きなつぼみがふくらんだこの町は

一方で「町村合併」という最重要課題に直面しています。

赤池町にしかないオンリーワンの「町づくり」と

自治体の枠組みを再編成し、強い町をつくらうとする「合併」。

このふたつの「うねり」が高まり、複雑に交差する一年、

赤池町において歴史的な局面を迎えようとしています。

ここで、「町づくり」と「合併」の双方向から

いま、最も気になる「町の動き」を特集します。

合併の春風舞うなかで

推定樹齢600年の町指定文化財「虎尾桜」。  
隔年満開になるエドヒガンの巨木が、この春  
福智山中で鮮やかな緋色の衣をまとった。